

空港反対闘争の拠点 現闘本部破壊を 実力阻止する！



【写真】成田空港会社が破壊しようとしている現闘本部建物。成田治安用によって鉄板で囲まれているが、まぎれもなく反対同盟の所有物。【左図】現闘本部と「へ」の字誘導路の位置関係。無理を重ねて造った暫定滑走路を強奪しようとしている。追いつめられた空港会社は、建物を破壊し、農地



空港建設の遅れを理由に 私有財産を強奪

1966年以来、反対同盟の事務所である天神峰現闘本部を国家権力が破壊しようとしています。私たちは体をはった実力阻止の闘いに立ち上がります。さる5月20日、東京高裁は現闘本部をめぐる裁判で、「成田空港建設は国策」「空港建設の遅れを取り戻すためには早急の撤去が必要」と、確定判決を待たずに撤去を許可する超反動判決を強行しました。

天神峰現闘本部は反対同盟の所有物であり、敷地に地上権、賃借権の権利があります。しかし井上繁規裁判長は、賃借権を示す地代領収証を「形式的なものに過ぎない」と切り捨て、空港会社に言われた最重要証人の証言を、ウソと知って採用し、現闘本部撤去の判決を強行しました。「国策」「公共事業」の美名による断じて許せない私有財産の強奪です。

成田空港会社は6月9日、「撤去命令申し立て」を千葉地裁に行い、早ければ6月末にも執行官に率いられた土木業者と機動隊が現闘本部を破壊に来ようとしています。天神峰現闘本部は、反対同盟はもとより三里塚に心を寄せる全国の労農学の闘いのシンボルです。断固死守します。自分の権利を守るのは自分自身の闘いです。それが私たち45年の闘いです。これはすべての人々の権利を守ることにつながります。

フクシマの怒り、成田の怒り 「国策」の名で命よりも経済優先

私たち、再び実力阻止の闘いに立ち上がることを宣言します。これは「命よりも経済優先の政策」で強行されてきた原発建設に対するフクシマの怒りと同じものです。ご支援よろしくお願ひします。(6月29日)